

第2回東京都 MICE 連携推進協議会 開催概要

日 時 令和4年3月1日 15時から17時

場 所 NS ビルスカイカンファレンスホール1 及びオンラインによるハイブリッド開催

出席者 令和3年度協議会委員16名

協議内容

- ・観光庁からの説明
- ・各部会からの報告（国際会議誘致、ユニークベニュー、拠点、テクノロジーの4部会）
- ・東京都からの報告
- ・各委員からの報告

開催概要

第2回の協議会では観光庁から今年度の補正予算及び来年度の MICE 予算・施策等の概要についてご説明いただきました。今年度開催された各部会からの報告に続き、東京都から来年度の MICE 誘致施策について、また各委員からは来年度の取組についてご報告をいただきました。

委員からの主な意見（要旨）

- 今後の MICE 誘致に向けて必要なことは、いかにその土地、生活、文化に触れることができ、かつ安全に集っていただけるのかを発信することである。
- 国際会議は誘致の手法や開催時の留意点等も変化しているため、ポストコロナに向け、ハイブリッド開催を見据えた人材育成等を強化していく必要がある。
- インセンティブ旅行について、レジャー部門とも連携して、より特別感のあるコンテンツを開発できるような取組を進めていくことが大切である。
- コロナ下で MICE の社会的認知度の低さを痛感した。ウィズ・ポストコロナにおいても業界の発信力を更に高め、人材確保に繋げていく必要がある。
- サステナビリティをきちんと形にするために、主催者、会場、施工運営事業者の3者が共通認識を持ち、コストやスケジュールなどのハードルを乗り越えていけるよう、官民連携で戦略的、政策的に進めることができると良い。
- ポストコロナの MICE においては、「知の交換」がキーワードになってくる。知の交換というコンテンツをどのようにレベルアップしていくかが重要である。また、「地域住民の理解」も重要な要素となっていくので、インナーマーケティングにも力を注ぐ必要がある。
- MICE に関しては、ハイブリッドに適したものと適さないものを切り分けることが非常に重要になってくる。

- 国が進める文化観光においては、MICE が重要なファクターの一つとなる。日本でリアル開催をするときには、日本の素晴らしい文化で MICE 全体が美しくコーティングされ、付加価値が高いということやユニークベニューの開発が促進されることが非常に大事。
- SDGs への取組を国内外に発信する際には、MICE 関係者が統一した表現を使って発信することで訴求力が高まる。同時にコンテンツ開発を推進することも大事。